

○三八上北森林管理署の「採材検討会及び労働災害防止協議会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和4年7月15日（金）に青森県六ヶ所村の倉内国有林で開催された「令和4年度 採材検討会及び労働災害防止協議会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は曇りのなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業体など60名を超える参加を得て採材検討会が開催され、今回はスギと広葉樹の採材について検討を行ったところです。三八上北森林管理署長の挨拶後、青森事務所からは各地域における販売価格など東北の需要動向に関して説明、署の担当者からは採材の考え方や留意点、丸太の販売実績などについて資料を基に説明があり、その後、採材の検討に移りました。

事前に試供木として準備した2本のスギ丸太について、一般材か合板材かの判断をそれぞれの丸太にある欠点の程度を確認しながら検討を行いました。広葉樹1本については青森県森林組合連合会の担当者からその用途と採材に際して留意すべき欠点等を説明いただき、採材についての意見交換が行われました。

その後、林業プロセスを効率化して生産性を上げ1本の木から得る利益を最大化する「バリューバックング」について、日立建機日本株式会社の担当者から動画や画像を見ながら説明を受けました。内容としては、伐倒の際、その木に最適な採材プランが提示され、最初の玉切りの長さに達すると、過去の木材情報から全木の長さを予測し、採材プランを自動更新して利益の最大化を図る。また、用途別に複数の価格設定が出来るので、樹種や用途が変わってもフレキシブルに最適な採材プランを導き出してくれるといったハーベスタのシステムです。

最後に青森事務所から、スギ等針葉樹の一般材、合板材の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底、労働安全について説明させていただいて採材検討会を終了しました。

午後からは会場を六ヶ所村立酪農会館に移して、労働災害防止協議会を開催。三八上北森林管理署長の挨拶、続いて十和田労働基準監督署長から安全講話がありました。次に林業・木材製造業労働災害防止協会青森県支部事務局長からの災害事例分析を踏まえた安全指導、署次長から東北局における請負事業体等の発生状況並びにヒヤリハットの情報共有等について要請があり、協議会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。



(スギと広葉樹の採材検討)



(ハーベスタ採材システムの説明)